

平成 31 年 2 月 18 日

関係各位

東洋太平洋ボクシング連盟（OPBF）バンタム級王座決定戦における
タイム計測ミスについての報告並びに謝罪

一般財団法人日本ボクシングコミッション（JBC）

理事長 秋山 弘志

一、平成 30 年 12 月 24 日、大阪市、住吉区民センターに於いて行われた OPBF バンタム級王座決定戦、ストロング小林祐樹（六島）対 栗原慶太（一力）の 12 回戦における、担当タイムキーパーのタイム計測ミスにつき検証した結果、下記の事実を確認しました。

（1）5 ラウンド終了後のインターバル 1 分 16 秒（JBC ルール上 1 分間）

（2）6 ラウンド 4 分（JBC ルール上 3 分間）

（3）6 ラウンド終了後のインターバル 2 分 2 秒（JBC ルール上 1 分間）

二、このことは、担当タイムキーパーの単なるタイム計測ミスに止まらず、競技スポーツとしてのプロボクシングの根幹に関わる極めて重大な問題であり、また、選手の安全管理上も看過出来ないものと認識しております。

つきましては公式試合管理業務の統括責任者として、本事案に関し出場選手、関係者、そしてファンの皆様に対しまして、心から反省の意を表するとともに、ここに謝罪をさせていただきます。

本件に関しましては、当該試合の管理・運営に関与した当財団の関係者の処分を厳重に行いました。さらに、今後は再発防止のための適切、有効な対策を実行し、万全の態勢で試合管理・運営に取り組んで参る所存でございます。

この度は、出場選手、関係者、そしてファンの皆様に多大なるご迷惑とご心配をお掛けしたことを、重ねてお詫び申し上げます。

以上